

世界史

【第1問】ギリシア世界に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

紀元前5世紀頃、全オリエントを統一して大帝国を築き上げていた(a)アケメネス朝（ペルシア）の支配に対し、（ア）を中心としたイオニア地方のギリシア人植民市が反乱をおこした。このことをきっかけに始まったのが、(b)ペルシア戦争である。ペルシアは反乱を援護したアテネに遠征軍を差し向けたが、(c)民主政によって団結を強めたアテネ市民の重装歩兵軍はこれを打ち破った。その後アテネは（イ）の指導によって海軍を拡充し、再びペルシアの大軍を大敗させた。そして、この翌年の戦いでギリシア側の勝利は決定的となった。

問1 下線部(a)アケメネス朝（ペルシア）に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：アッシリア王国を滅ぼした。

Y：ダレイオス1世がおこした。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①カルタゴ

②ネアポリス

③マッサリア

④ミレトス

問3 下線部(b)ペルシア戦争に関連して、ペルシア戦争の主要な戦いを古い順に並べた選択肢として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①サラミスの海戦→マラトンの戦い→プラタイアの戦い

②プラタイアの戦い→マラトンの戦い→サラミスの海戦

③マラトンの戦い→サラミスの海戦→プラタイアの戦い

④マラトンの戦い→プラタイアの戦い→サラミスの海戦

問4 下線部(c)に関連して、アテネの民主政の発展過程に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：前6世紀半ばに、ペイシストラトスが中小農民を保護するなど平民層の力を充実させた。

Y：前508年にアテネの指導者となったクレイステネスが、地縁共同体である区（デーモス）を基礎とする10部族制に改める改革をおこなった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① ソロン
- ② テミストクレス
- ③ ドラコン
- ④ レピドゥス

B

ギリシア人がうみだした様々な文化遺産はのちのヨーロッパ近代文明の模範となった。たとえば、文学面では、神々と人間の関わりをうたった(d)ホメロスやヘシオドスの叙事詩が有名である。また、(e)民会などでの弁論が市民生活の中で重要となってくると、相手をいかに説得するかを教えるソフィストと呼ばれる職業教師があらわれた。その典型として「万物の尺度は人間」と主張したプロタゴラスに対して、(ウ)は真理の絶対性を説いた。(ウ)の哲学を受け継いだ(エ)は、事象の背後にあるアイデアこそ永遠不変の实在であるとした。(エ)の弟子である(オ)は、自然・人文・社会のあらゆる方面に思索をおよぼし、「万学の祖」と呼ばれた。

問6 下線部(d)ホメロスの作品として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 『アガ멤ノン』
- ② 『イリアス』
- ③ 『女の平和』
- ④ 『歴史』

問7 下線部(e)民会に関連して、ペリクレス時代の民会に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：成年男性市民の全体集会だった。

Y：多数決で国家の政策を決定した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① アリストテレス

② ソクラテス

③ タレス

④ プラトン

問9 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① アリストテレス

② ソクラテス

③ タレス

④ プラトン

問10 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① アリストテレス

② ソクラテス

③ タレス

④ プラトン

【第2問】モンゴルの大帝国に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

12世紀初頭に(a)遼（契丹）が滅亡すると、モンゴル高原の諸部族のあいだに再編の動きが進んでいった。テムジン（チンギス・カン）は、東北部のモンゴル部族のなかで勢力をのぼし、1206年のクリルタイでカン（ハン）位についた（チンギス＝カン（ハン））。(b)チンギス＝カン（ハン）は、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統一して大モンゴル国を形成した。

その後、モンゴル軍は草原・オアシス地帯に支配を広げていった。西トルキスタン・イラン方面では、（ア）を倒して西北インドに侵入し、(c)西夏を滅ぼした。チンギス＝カン（ハン）の死後に即位したオゴデイ（オゴタイ）は、(d)金を滅ぼして華北を領有した。西北ユーラシア方面では、モンゴル軍が東欧まで侵入し、（イ）でドイツ・ポーランド連合軍を破った。西アジアでは、フレグ（フラグ）がバグダードを占領して（ウ）を滅ぼした。

こうしてモンゴルの支配が広大な領域に広がったことにより、東西の交通路が整備され、東西文化の交流が盛んになった。当時十字軍をおこしていた西ヨーロッパは、イスラーム地域をも征服したモンゴル帝国に関心をもち、ローマ教皇が（エ）、フランス王が（オ）を、相次いで使節としてモンゴル高原に送った。

問1 下線部(a)遼（契丹）に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 11

X：耶律阿保機が強力な国家をつくりあげた。

Y：部族制と州県制を併用する二重統治体制をとった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 下線部(b)チンギス＝カン（ハン）に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 12

X：千戸制をしいた。

Y：大都（現在の北京）に都を定めた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問3 下線部(b)チンギス=カン (ハン) に関連して、以下の絵はチンギス=カン (ハン) の即位の様子をイラン風の筆遣いで描いたものである。この挿し絵が含まれる歴史書『集史』がつくられた国名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。



- ①イル=ハン国
- ②キプチャク=ハン国
- ③元
- ④チャガタイ=ハン国

問4 空欄 (ア) に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アッバース朝
- ②アンコール朝
- ③ホラズム=シャー朝
- ④マムルーク朝

問5 下線部(c)西夏に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：漢字の構造にならった西夏文字をもちいた。

Y：李元昊が皇帝を称した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問6 下線部(d)金に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：独自の女真文字をもちいた。

Y：耶律大石がおこした。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問7 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①イッソスの戦い

②タンネンベルクの戦い

③マルヌの戦い

④ワールシュタットの戦い

問8 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①アッパース朝

②アンコール朝

③ホラズム＝シャー朝

④マムルーク朝

問9 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イブン＝バットウータ
- ②プラノ＝カルピニ
- ③マルコ＝ポーロ
- ④ルブルック

問10 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イブン＝バットウータ
- ②プラノ＝カルピニ
- ③マルコ＝ポーロ
- ④ルブルック

【第3問】ヨーロッパ諸国の海外進出に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

ヨーロッパ人は大航海時代以降、盛んにアジアへ進出していった。インド航路を開拓した（ア）は、1510年にインドのゴアを占領し、ここを根拠地としながら、香辛料貿易に加わった。（イ）は、フェリペ2世時代にフィリピンを領有して、マニラを拠点としたアジア貿易をおこなった。（ウ）は、1602年に東インド会社を設立してアジアに進出し、バタヴィア（現ジャカルタ）を根拠地に（ア）の商人を排除しつつ香辛料貿易の実権を獲得した。1600年に東インド会社を設立した（エ）は、当初は東アジア貿易への参入をこころみただものの、1623年におきた（オ）以降はインドネシアから締め出されたために、以後はインド経営に注力した。（カ）は、財務総監コルベールのもとでインドに進出し、ボンダイシェリなどを基地として（エ）に対抗した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②オランダ
- ③スペイン
- ④フランス
- ⑤ポルトガル

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②オランダ
- ③スペイン
- ④フランス
- ⑤ポルトガル

問3 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②オランダ
- ③スペイン
- ④フランス
- ⑤ポルトガル

問4 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。 24

- ①イギリス
- ②オランダ
- ③スペイン
- ④フランス
- ⑤ポルトガル

問5 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 25

- ①アンボイナ事件
- ②カーナティック戦争
- ③プラッシーの戦い
- ④マラーター戦争

問6 空欄（カ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。 26

- ①イギリス
- ②オランダ
- ③スペイン
- ④フランス
- ⑤ポルトガル

B

17世紀以降、アジアと同様に、アメリカ大陸でもヨーロッパ諸国の領土支配の動きがみられた。オランダは北アメリカ東岸にニューネーデルラント植民地を領有して、中心都市として(a)ニューアムステルダムを建設した。フランスはルイ14世時代に広大な（キ）を手に入れた。イギリスは17世紀初頭、北アメリカ東岸の最初の植民地である（ク）を設けた。(b)その後もイギリスから多くの入植者が移住し、18世紀前半までに13の植民地がつけられた。

地図



問7 下線部(a)ニューアムステルダムの位置として最も適当なものを、地図の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問8 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ヴァージニア
- ②ジョージア
- ③フロリダ
- ④ルイジアナ

問9 空欄（ク）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ヴァージニア
- ②ジョージア
- ③フロリダ
- ④ルイジアナ

問10 下線部(b)17世紀から18世紀前半にかけてイギリスから北アメリカに移住した入植者に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：本国で迫害を受けていたピューリタンがニューイングランドに多く移住した。

Y：それぞれの植民地は、ある程度の自治を認められていた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

【第4問】東アジア諸地域の動揺に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

日本では、アメリカからのペリーの来航をきっかけとして、1854年に（ア）、58年に（イ）を結び、開国をおこなった。この対外危機のなかで、倒幕運動がおこり、幕府の大政奉還を経て、68年に天皇親政の明治政府が成立した。明治政府は富国強兵を目指して、工業や軍事の近代化や(a)社会制度の改革をおこなった。また、日本は、(b)樺太・千島交換条約を結んで北方の国境を定めるとともに、(c)積極的な勢力伸長の姿勢を示した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①下関条約
- ②日米安全保障条約
- ③日米修好通商条約
- ④日米和親条約

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①下関条約
- ②日米安全保障条約
- ③日米修好通商条約
- ④日米和親条約

問3 下線部(a)明治政府がおこなった社会制度の改革に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イギリスの憲法にならった日本国憲法の発布をおこなった。

Y：二院制の議会を開設した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)樺太・千島交換条約に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：全樺太を清領と定めた。

Y：全千島を日本領と定めた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)19世紀末の日本の勢力伸長に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

X：1874年に台湾出兵をおこなった。

Y：1879年に琉球処分（琉球領有）をおこなった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

B

1860年代にはいると、欧米諸国が朝鮮に対して開国を求めるようになった。しかし、朝鮮の高宗の摂政だった（ウ）はこれを拒否した。日本は、75年に（エ）をおこして、朝鮮にせまり、翌76年に(d)日朝修好条規を結ばせた。当時、朝鮮内部では、攘夷派と改革派の対立に加えて、改革派のなかにも日本に接近してより急進的な改革をすすめようとする（オ）らなどの様々な立場があった。その結果、82年には攘夷派の兵士らによる（カ）、84年には急進改革派によるクーデタである（キ）など内争がたびたびおこった。これらの争乱に際して、朝貢国である朝鮮への影響力を確保しようとする清と、それに対抗して朝鮮に進出しようとする日本の軍事衝突の危険性が高まっていった。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 36

① 欧陽脩

② 司馬光

③ 周敦頤

④ 大院君

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①江華島事件
- ②五・四運動
- ③三・一独立運動
- ④満洲事変

問8 下線部(d)日朝修好条規（江華条約）に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：厦門の開港を認めた。

Y：領事裁判権を日本に認めた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①金日成
- ②金玉均
- ③洪秀全
- ④蔣介石

問10 空欄（カ）と（キ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カ：義兵闘争 キ：甲午農民戦争
- ②カ：義兵闘争 キ：甲申政変
- ③カ：壬午軍乱 キ：甲午農民戦争
- ④カ：壬午軍乱 キ：甲申政変